参考資料１
令和８年２月13日
第５回会議資料

おだわら市民交流センターＵＭＥＣＯ指定管理者実施事業計画（令和８年度）

No	事業名	機能	コンセプト	目指す姿	実施内容（計画）	指標	令和７年度実績値	令和８年度目標値
1	ＵＭＥＣＯ企画展	拠点	きっかけ	市民活動団体が活動に関する様々な企画展示を行うことで、市民活動及び団体に対する市民の関心が高まり、活動を始めたり応援したりする人が増える。	年間を通じ、多目的コーナーやホワイエを利用し、登録団体の活動に係る展示を行う。企画展の周知を実施し過去未参加団体の展示を呼び掛ける。ＵＭＥＣＯ主導での企画展を強化する。ホワイエの利用を企画展に限らず、他の事業への活用を検討する。	【コンセプト面】来場者へのアンケート「団体（活動）への関心増」	67% （中間報告時）	80%
						【機能面】 参加団体数	28団体 （重複は含まず）	35団体
2	アクティブサロン	拠点	きっかけ	企画展では活動内容等を発表することが出来ない団体に、体験の場等提供することで、市民活動及び団体に対する市民の関心が高まり、活動を始めたり応援したりする人が増える。	活動エリアを利用し、サロン形式やイベント形式での活動紹介等、多様な形で開催する。月1回（1日または２日間）の開催とする。テーマを設定し、複数の団体が参加できる場を構築する。	【コンセプト面】来場者へのアンケート「団体（活動）への関心増」	80% （中間報告時）	80%
						【機能面】 参加団体数	11団体	12団体
3	団体登録	拠点	行動	市民が思いを行動に移せるよう、新たな団体登録、年度ごとの登録更新（６月末）を促進し、ＵＭＥＣＯを団体の情報発信の場、又は活動の拠点とする。	活動実績等を把握し、的確な申請受付を実施。 更新手続きを徹底するため、周知方法の検討およびオンラインでの受付による手続きの軽減化を図る。	【コンセプト面】 新規登録団体数	33団体 （再登録含む）	30団体
						【機能面】 登録団体数	378団体	400団体
4	相談業務	相談支援	実現	法人化や市民活動（ボランティア含む）全般に関する相談、他団体との連携にかかる相談等を受けることで、市民活動が発展する。	相談日を設け相談員を配置するとともに、簡単な相談は随時受け付ける。 情報誌等を使用し相談受付を広く案内する。 スタッフのスキルの向上（研修等による）を引き続き進める。	【コンセプト面】 相談解決割合	98%	100%
						【機能面】 相談件数	71件	100件
5	市民活動団体への資金面への支援	相談支援	実現	運営のため、事業実施のための資金調達は重要課題であり、資金確保に係る支援を行うことで、市民活動を活性化する。	市民活動・協働応援制度補助金に係る業務（応募受付・事業視察）の他、各種補助金のホームページでの案内等、資金支援に係る情報提供を行う。	【コンセプト面】 補助金応募件数	21件	20件
						【機能面】 補助金交付団体の事業見学（視察）	7件	100%
6	企業とのネットワーク	協働支援	実現	市民活動団体と企業との協働により、団体の様々な活動を紹介する。また、企業との連携による社会貢献に向けての活動を創出することで活動の場が広がる。	実績のあるショッピングモールの協力によるパフォーマンス主体の事業を継続する。市内の企業等を中心に、地域活性化等に関する事業連携を推進する。（企業・団体による交流会実施等）	【コンセプト面】 団体と企業の連携事例数	1件	3件
						【機能面】 フェスティバル開催数	2回	3回
7	地域とのネットワーク	協働支援	実現	地域の各種団体と市民活動団体との連携を促進することで、地域課題を解決する。	接点をまちづくり員会に特化せず、広く地域活動団体と登録団体との協働を模索する。地域のニーズを把握するため団体間の交流会を開催し、マッチングの機会を広げる。地域のニーズをアンケート等にて収集し参考とする。	【コンセプト面】 事業報告中のアンケート「地域の困りごとが解決した割合」	アンケート 未実施 （令和８年度に実施）	50%
						【機能面】 マッチング回数	26回 （令和７年12月末）	20回
8	パートナーシップミーティング	交流・コーディネート	実現	イベントに参加した市民活動団体が、他の参加者との連携を通じて活動を発展させ、地域の課題解決に貢献する。	ＮＰＯ、学校、企業を中心としたマッチングの機会を創出するイベント（事例発表、グループワーク等）を開催する。R8年度はＵＭＥＣＯ単独での開催となるので、「in県西」か「in小田原」とするかは要検討。	【コンセプト面】 マッチング成立件数	0件	3件
						【機能面】 参加者数	44名	40名
9	市民活動入門講座	学習・体験	きっかけ	市民の方々が生きがいを持ち、活き活きとした社会生活ができるよう市民活動参加へのきっかけ作りをする。また、若い世代の人たちに市民活動について学んでもらう機会を提供することで関心が高まる。	シニア・学生を中心に市民活動への関心を高める為の講座を開催する。学校への出張（出前）講座開催場所の拡張。	【コンセプト面】 受講者へのアンケート「活動を始めたい人の割合」	アンケート 未実施	80%
						【機能面】 入門講座開催数	3回	3回

No	事業名	機能	コンセプト	目指す姿	実施内容 （計画）	指標	令和７年度 実績値	令和８年度 目標値
10	夏休みボランティア体験学習	学習・体験	きっかけ	中高生を中心に、夏休みに合わせてボランティア体験の機会を提供し、社会にどのような貢献ができるかという「ボランティア精神の芽生え」のきっかけとなる。	従前の「夏ボラ」は引き続き受入れ団体や参加者の拡充を図っていく。昨今のボランティア参加のニーズに対応するため、年間を通じてボランティア募集の案内を拡充していく（ホームページを使った募集案内等）。	【コンセプト面】 参加者へのアンケート「ボランティア活動への関心度増」	88%	90%
						【機能面】 ボランティア参加者数	159人	250人
11	団体向け各種講座	学習・体験	行動	市民活動団体の活動を広く支援するための各種講座の開催により、団体が成長する。	団体の成長支援のため、団体のニーズを捉え、活動の問題点解決のための講座を開催する。市民活動参加に向けたシニア向けの講座（団体との交流会等）を開催する。	【コンセプト面】 受講者の満足度	100%	80%
						【機能面】 １講座当たり受講者数	7名	10人
12	若者の市民活動参加の支援	学習・体験	きっかけ	ボランティア活動等を通じ学生や若者のボランティア活動を支援することで、若い世代の活動への参加を促進する。	ボランティア参加の機会を増やすことで、活動団体との接点を提供し、市民活動への関心を広げ、活動参加を促す。 また、インターンシップを積極的に受け入れる。	【コンセプト面】 各種事業におけるアンケート「若者の市民活動への関心度増」	年度末集計	80%
						【機能面】 インターンシップ受入数	0名	2名
13	男女共同参画の推進	学習・体験	きっかけ	市や市民活動団体等と連携して男女共同参画を推進することで、男女が、社会の対等な構成員として自らの意志によって、社会のあらゆる分野において活動に参画できる機会を確保する。	従来の企画展の他、小田原市が進める「男女共同参画プラン」を参考に、市民の方々の意識向上（自己啓発）を推進するため事業を展開する。	【コンセプト面】 参加者へのアンケート「男女共同参画への関心増」	アンケート 未実施 （関心度調査が含まれないため令和８年度項目を見直す）	80%
						【機能面】 イベント回数	3回	3回
14	ＵＭＥＣＯ祭り	交流・コーディネート	きっかけ	ＵＭＥＣＯ全館を利用し、市民にＵＭＥＣＯや市民活動について知って頂き、市民活動参加へのきっかけとする。また、市民活動団体相互の交流を行う事で、他の活動への関心を高め協働へのきっかけとする。	登録団体有志による実行委員会での検討を経て、11月下旬に登録団体が様々な企画（活動発表・作品展示・パフォーマンス等）により活動紹介を行い、活動内容を多くの市民に知ってもらう。また、参加団体同士の交流をすすめる。 2026年2月に開催する「明日のＵＭＥＣＯ祭りを考える会」においての登録団体の意見を参考に改善をすすめる。	【コンセプト面】 来館者へのアンケート「事業の満足割合」	70%	80%
						【機能面】 来館者人数	1800人 (93) （）は参加団体数	2000人
15	団体交流会	交流・コーディネート	行動	イベントに参加した市民活動団体が、特定のテーマに沿った交流を通じ、他の参加者と思いを共有し、活動を発展させる手掛かりを得て具体的な行動につなげる。	同じ分野で活動する団体間の交流会の他、他の事業と関連する、分野・業種を超えた交流会を開催する。 新春交流会は従来どおり開催する。	【コンセプト面】 他団体とのつながりができた件数	0件	3件
						【機能面】 交流会開催数	3回	3回
16	国際交流	交流・コーディネート	行動	市の担当部署との連携も視野に、海外の文化の発信や外国籍の方たちとの交流を推進する。	外国籍の方同士や登録団体との交流の場を開催する。（多国籍の方の様々な課題の解決になるようなイベント、地域コミュニティの支援、日本語教室への協力等）	【コンセプト面】 アンケート「参加団体の満足度」	アンケート 未実施 （3月に実施予定）	70%
						【機能面】 イベント開催回数	0回 （3月開催予定）	1回
17	情報発信	情報の集約・発信	きっかけ 行動	さまざまな活動情報を集約し、情報誌発行やインターネットツールを活用して、ＵＭＥＣＯや市民活動の情報を発信することで、一般市民等は市民活動に参加するきっかけを、市民活動団体は活動を発展させる手掛かりを得る。	①情報誌（UMECOだより）の定期発行 ②ホームページの運用 ③FMおだわらの活用 ④新たな情報発信メディアへの展開 ⑤情報誌、ホームページ等の満足度の調査、必要により改善	【コンセプト面】情報誌・ホームページ等の満足度調査	調査未実施 （令和８年度に実施）	80%
						【機能面】 ①情報誌の発行 ③FMおだわら出演団体数	5回/年 42団体	6回/年 45団体

※本資料における「令和７年度実績」は、特記のないものは令和８年１月末現在のものです。